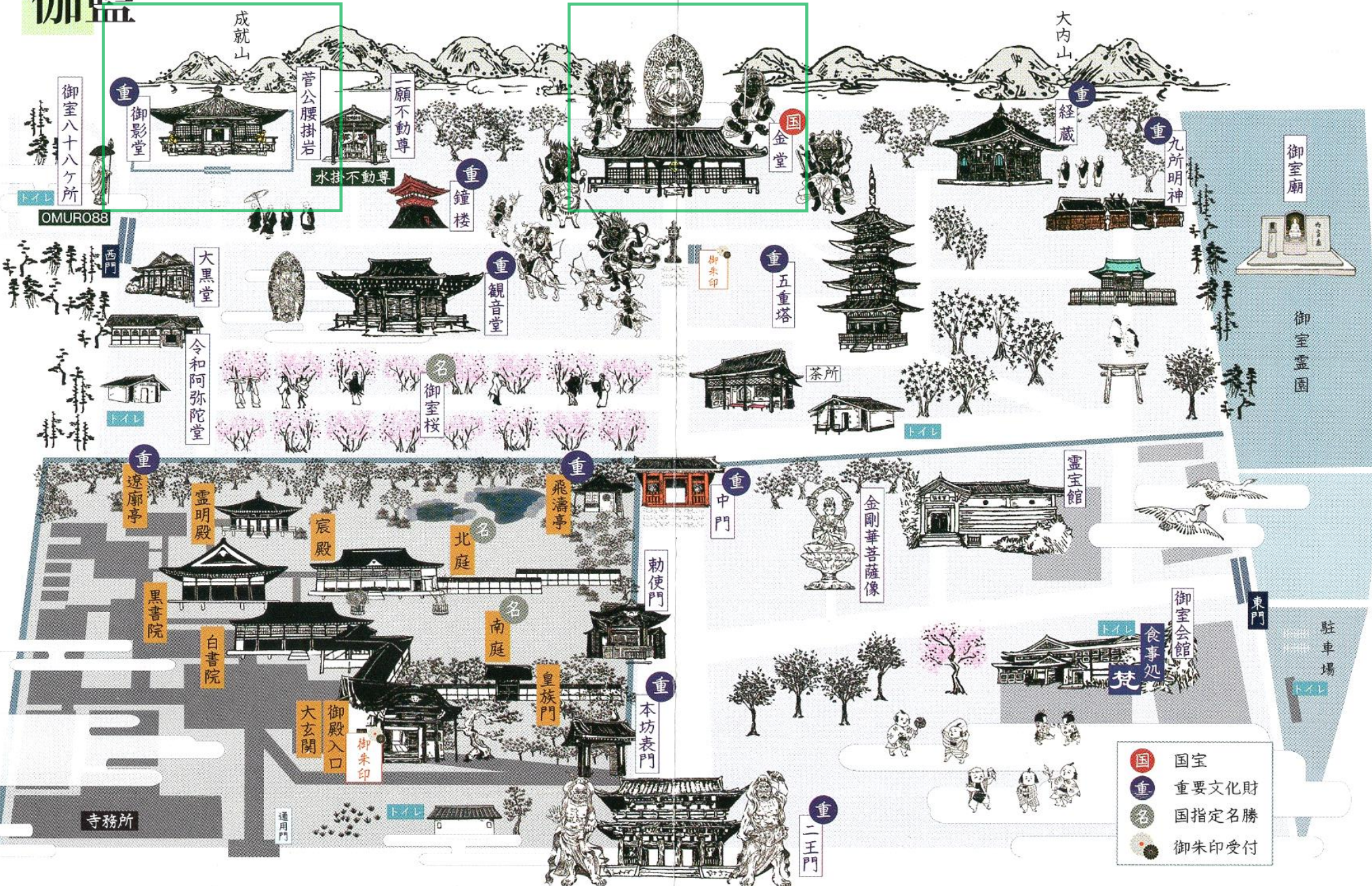


仁和寺金堂（京都府） 旧慶長度内裏紫宸殿



慶長18年（1613）に造営された内裏の紫宸殿を寛永18年（1641）に移築したもの。移築の際に、屋根が檜皮葺きから瓦葺きに変更されるなど紫宸殿の形式が変更されてはいるものの、特に正面からの外観と小屋組みが「当初の形式を通しており、宮殿建築の遺構として最も重要な価値を有する」と言われている。

伽藍

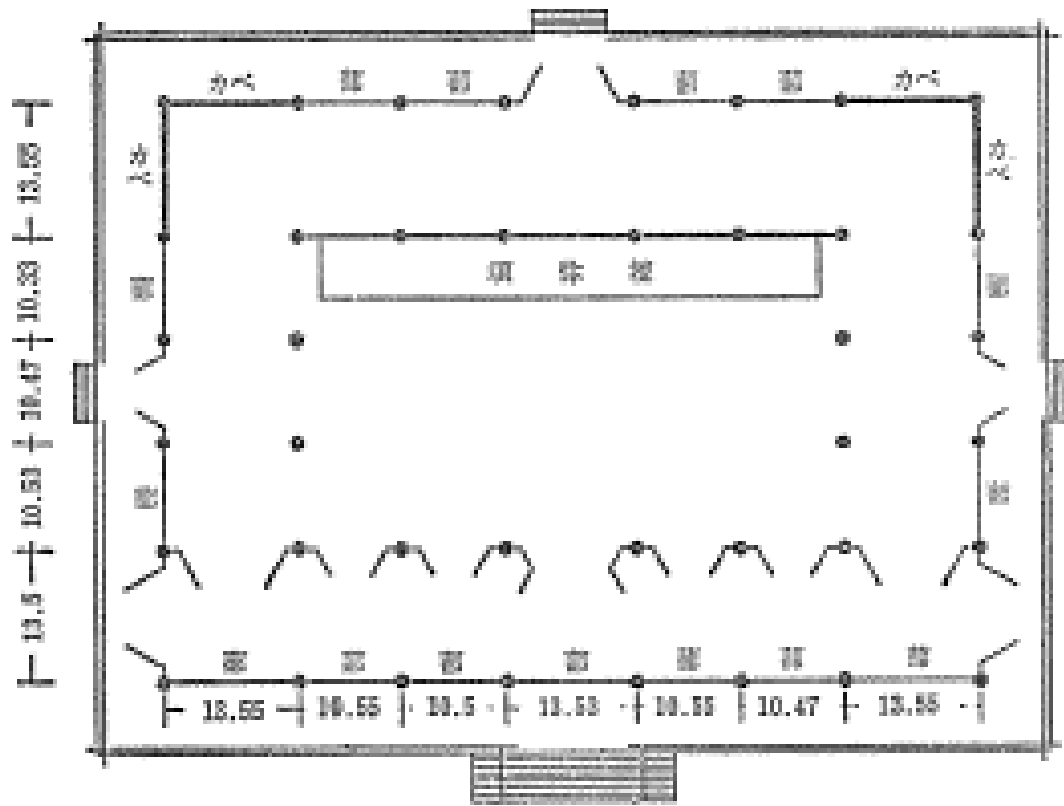


- 国 国宝
- 重 重要文化財
- 名 国指定名勝
- 御朱印受付

仁和寺境内図
仁和寺パンフレットより

仁和寺御影堂（京都府） 旧慶長度内裏清涼殿





平面図





蔀格子



屋根破風



三重の垂木



正面七級の木階と向拝



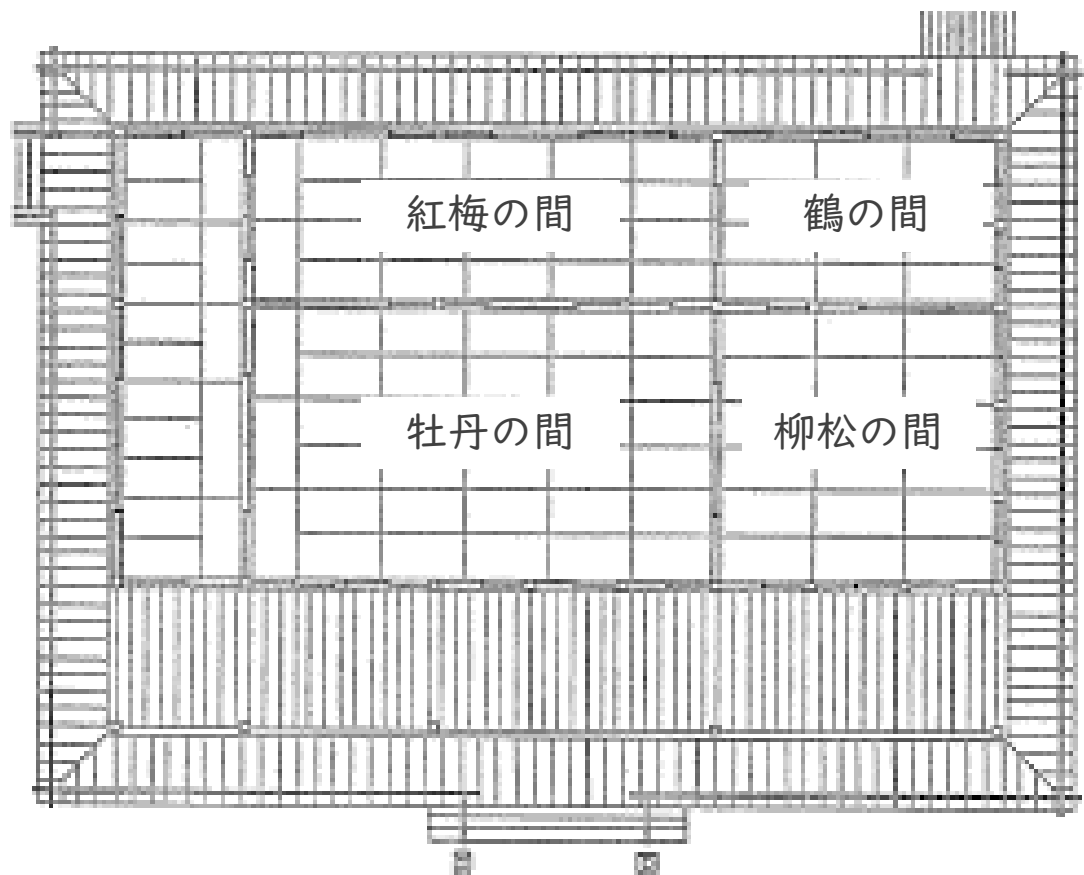
木鼻や手挟木口の透彫金具
(内裏に共通な手法)

大覚寺宸殿（京都府）

東福門院旧殿



大覚寺宸殿は東福門院（2代将軍秀忠の娘）入内時の旧殿を移築したもので、後水尾天皇より下賜された寝殿造りの建物。移築年代は1686年とされるも不明。仁和寺金堂屋根が本瓦葺きに変更されていたのと比較すると、檜皮葺きが維持されており、当初の宸殿の面影を知るには相応しい建物といえる。



大覚寺宸殿平面図





牡丹の間





吹放しの広縁